



学校教育目標 「学び合い」「個性」「自立」

- | | |
|--|-----|
| (1) 生きるための基本的な生活習慣・学力を身につける生徒を育てます。 | 【知】 |
| (2) 自分のまわりの人とふれあい、お互いを大切にする心を育てます。 | 【徳】 |
| (3) 自他の生命を尊重し、健康でたくましい体を育てます。 | 【体】 |
| (4) 社会の一員として自覚をもち、自分の生き方を決められる生徒を育てます。 | 【公】 |
| (5) 体験を通して自分を豊かにし、社会の変化に柔軟に対応できる生徒を育てます。 | 【開】 |

「笑顔の花を」

校長 井上菜穂子

6月になり学校が再開いたしました。生徒たちの姿や声が、半数ずつですが学校に戻り、本当にうれしく幸せに思います。換気のために窓やドアの開放がされ、心地よい風も入ってきます。新型コロナウイルスの影響でさまざまなことが変更を余儀なくされ、いろいろなことを考えさせられたこの3ヶ月。生徒の皆さんやご家族には、特に大変な思いをさせてきました。

じっくりゆっくり学校では日常を取り戻していきたいと考えます。「学力が」「部活動が」「行事はどうなる」と心配されているところと思いますが、できることから少しずつ、状況の把握や気配りを考えながら進めていきます。久しぶりの学校生活なので、まずは生活面でのリズムをきちんと整えていきましょう。

先日の新聞のコラム欄に

「笑顔の日ざしに桜咲き、不満の嵐に桜散る」

という言葉がありました。思うようにならないことに不満を言ってばかりでは、成すべきことが果たせないですよという戒（いまし）めなのでしょうね。

各学年からはそれぞれおたよりが出ていますが、「分散登校」の初日は「道徳」です。ウイルスの感染の第二段階は『不安や恐怖』、第三段階は『偏見・差別』につながるという、ウイルスそのものだけでなく、とても怖いお話による学びを全クラス行います。

今の状態を「不安だな、不安だな」と毎日暗い気持ちで過ごすことへの懸念、また、根拠なく「〇〇が悪い、危ない」と決めつけたり批判することの影響などに対する啓発です。目に見えないからこそやみくもに怖がったり、誰かに責任を押しつけることへの危険性を学習します。

集団での学校生活ですから、「正しく恐れよう」というメッセージが響きます。手洗い・マスクだけでなく適切な、なすべき言動をこの機会に学習してほしいと思います。これからの毎日の中で、すべての生徒の皆さんが「笑顔の花」を咲かせられますよう、お互いを大切にしながら過ごしてくれることを願っています。



「感謝」

副校長 篠原 武

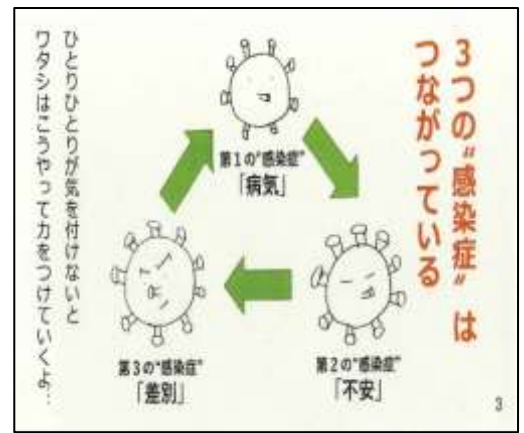
はじめまして。本年度田奈中学校に着任いたしました副校長の篠原と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。4月に参りましたが、この時期にご挨拶をするという意外な形になってしまいました。

新型コロナウイルスに関しまして、様々なご協力をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございます。また、我慢をし続けていた子どもたちにも拍手を送りたいと思います。通常の日常が少し取り戻せた状態です。このまま、当たり前前のご生活を当たり前前に行きたいものです。様々なご協力を地域、保護者の皆様にこれからもいたしますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！ ～負のスパイラルを断ち切るために～

1日の学活の時間では、日本赤十字社から出ている資料を使って、「新型コロナウイルスの3つの顔」について学習し、考えました。

この感染症の問題のひとつは、嫌悪や差別が、感染者や感染が疑われる方、社会生活維持のため懸命に働いている家族など、『人』に向かっていくことです。本当に戦わなくてはいけない相手は、『人』ではなく『ウイルス』と、一人ひとりの心の中にある、誰もが感じる『恐怖・不安』です。この新型コロナウイルスの影響で、多くの方が辛い思いや、苦しい思いをしています。ウイルスは、人に侵入して力を借り生きることができます。人が一致団結し、賢く行動すれば、ウイルスは勢いを失います。負のスパイラルを作らない。私たちができることを考えながら生活していきましょう。



**第1の「感染症」を
ふせぐために**

1人1人が衛生行動を徹底しましょう。

- 「手洗い」
- 「咳エチケット」
- 「人混みを避ける」

など、
ウイルスに立ち向かうための行動を、
自分のためだけでなく周りの人のため
にもすることが大切です。

**第2の「感染症」に
ふりまわされないために**

不安や恐れは私たちの
気づく力
聴く力
自分を支える力
を弱めます。

不安や恐れは身を守る為に必要な
感情ですが、私たちがから力を奪い、
冷静な対応ができなくなることも
あります。

**第3の「感染症」を
ふせぐために**

みなさんそれぞれの場所ですべて感染を拡大
しないように頑張っています。

- ・小さな子どもがいる家庭
- ・高齢者
- ・治療を受けている人とその家族
- ・自宅待機している人
- ・医療従事者
- ・日常生活を送って社会を支えている人

この事態に対応しているすべての方々を
ねぎらい、敬意を払いましょう。

田奈中の相談活動

本校では、個人面談（三者面談）のほか、定期的に教育相談（生徒と教員の二者面談）を行っています。また、月末には生活点検、定期テスト前には各教科で学習相談も行っています。このような機会以外にも、自分のこと・友達関係・学習のこと等、困ったことや気がかりなことがあったときは、いつでも気軽に相談をしてください。担任はもちろん、学年の先生、部活動や教科の先生、生徒指導専任の先生、養護の先生・・・いつでも、誰にでも、声をかけてください。あなたの立場になって、親身に対応します。



●スクールセクハラ相談窓口●

学校におけるセクシャルハラスメントをなくすため、田奈中における相談窓口を設けています。生徒や保護者からの相談については、次の先生に連絡してください。

村上 孝文（生徒指導専任）
吉岡 千晶（養護教諭）
篠原 武（副校長）
電話 045（981）3101（田奈中）
教育総合相談センター（一般教育相談窓口）
電話 045（671）3726～8

●スクールカウンセラー●

今年度も岡本一敏先生が、田奈中学校の学校カウンセラーとして勤務します。岡本先生は金曜日に来校します。心に関する相談なら何でもOKです。相談は予約制です。直接申し込むか、担任・生徒指導専任・養護教諭にご相談ください。

カウンセラー専用直通電話（金曜日）
電話045（981）8461
カウンセラーの不在時は、学校に電話してください。
045（981）3101